

平成21年度

「人権の花」運動実践報告



別府市立南小学校

人権の花運動実践報告

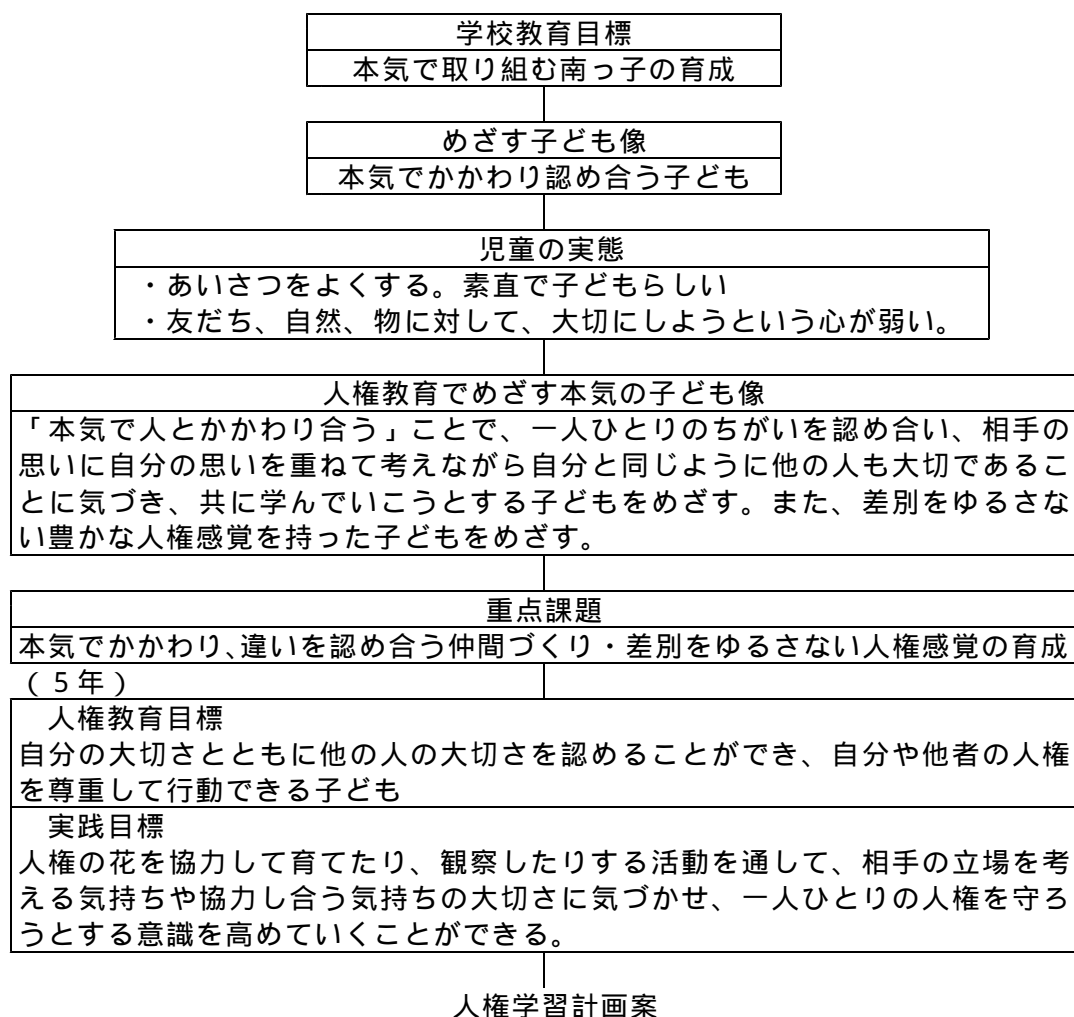
別府市立南小学校

目次

1 . 人権学習の全体構想	1
2 . 「人権の花」運動の目的	1
3 . 「人権の花」運動でめざす子ども	1
4 . 活動のスローガン	2
5 . 年間活動計画	2
6 . 活動の様子	
(1) 指定書交付式	3
(2) 第 1 回地域の方と苗植え	4
(3) ちょうちんづくり	5
(4) 図工「人権の花を描こう」	6
(5) 人権の花でお迎え	7
(6) 第 2 回地域の方と苗植え	8
(7) 「人権の花」運動終了式・風船とばし	9
7 . 子どもの感想	1 0
8 . 地域の方より	1 1
9 . 種を拾ってくれた方より	1 2
1 0 . 成果と課題	1 3
おわりに	



1. 人権教育全体構想



2. 「人権の花」運動の目的

人権の花を協力して育てたり観察したりする活動を通して、相手の立場を考える気持ちや協力し合う気持ちの大切さに気づかせ、情操豊かな心を育てる。

3. 「人権の花」運動でめざす子ども

自分の大切さと共に他の人の大切さを認める人権感覚の基礎を身に付けて、自分や他者の人権を尊重する行動できるようになる。

4 . 活動のローガン

- 本気で育てよう人権の花 -

一人ひとりの心に 咲かせよう しあわせの花

～ みんなが笑顔になるために～

5 . 年間活動計画

5年生がチームごとにプランターや花壇に種を蒔いたり苗を植えたりする。
地域ボランティアの方に協力していただいて進めていく。

月	活 動 内 容
4	「人権の花」打ち合わせ
5	・「人権の花」について、 ・人権標語づくり ・人権ポスターづくり ・スローガンの決定 ・プランターの土入れ替え ・28日(木)14:00~15:00「人権の花指定書交付式」
6	・種まき、苗植え(ひまわり・ペチュニア・スイセン・チューリップ)《地域ボランティア》 ・栽培(水やり等)・観察、成長記録
7	・栽培(水やり等)・観察、成長記録 ・薬師祭りのちょうちん作り《地域ボランティア》 ・「人権の花」の絵描き
10	・下旬ひまわりのたね収穫 ・ポチュラカ移植
11	・苗植え(ビオラ・パンジー) ・球根植え(チューリップ・スイセン) 《地域ボランティア》
12	・人権集会発表 ・「風船イベント」「終了式」

6. 活動の様子

(1) 「人権の花」運動指定書交付式

5月28日に、「人権の花」運動の指定書交付式がありました。この日を迎える前に、『人権とは何だろう』とみんなで考えました。そして、5年生が「人権の花」を育てていく代表だと確認しました。その際に、スローガンに入りたい言葉を考えました。

5月28日 指定書交付式

スローガン発表



人権とは、みんなが幸せになることじゃないかな？
幸せになったら、笑顔になるんじゃないかな？
一部の人だけではなくて、みんなの人権が守られないといけないよね。
花を育てながら人権について考えていこう！

指定書交付



～子どもの感想～

たくさんの方の話を聞いて花の大切さがわかりました。花は人の心をいやしてくれるからすごいなと思いました。育てる時に「がんばれ!」と言ってあげたいです。早く花を植えて育てたいです。

(2) 第1回地域の方と苗植え・種蒔き

第1回の苗植えをしました。ポチュラカとペチュニアの苗を植えました。たくさんの地域の方が手伝いに来てくれました。植え方に戸惑う子どもたちに、地域の方がやさしくアドバイスをしてくれました。

6月8日 苗植え



今日はよろしくお願いします。植えた苗が花いっぱいになって、地域の方や全校のみんなが笑顔になればいいなと思っています。

途中で雨が降ったけど、苗植えは最高に楽しかったです。地域の方が手伝ってくれたので、きれいな花が咲くと思います。



「水をあげたら土がへるよ。だから土はいっぱい入れないといけないよ。」と言って、土を入れてくれました。とてもうれしかったし、勉強になりました。



ぼくは、花を色とりどりにしました。そして、植える時に「大きくなれよ。」「強く育てよ。」と心で言いました。これから、どれくらい大きくなるのが楽しみです。校長先生の話聞いて、わたしは「早くキレイな花、咲いてね。」と心で言いました。これからも、やさしい気持ちでお世話したいです。きれいな花がさいたら、今日来てくれた人たちに見せてあげたいな。一緒に苗植えができて楽しかったし、うれしかったです。

(3) ちょうちんづくり

苗植えに地域の方が手伝いに来てくれますが、自分たちが地域の行事に少しでも参加できないかと考え、ちょうちん作りをすることにしました。地域の名人さんが来て教えてくれましたが、作るのは大変難しく、結局名人さんに作ってもらうことになりました。しかし、竹を編んだり釘を打ったりしたことは貴重な体験でした。

7月4日 ちょうちん作り



このような枠を作る予定だったのですが、短時間でこれを作るのは、とても難しかったです。そこで、地域の名人さんたちが人数分の枠を作ってくださいました。

夏休みに、トレイシングペーパーに“祭り”“夏”に関する絵を描いて、枠に貼り付けました。



夏休みの終わりにある「浜脇薬師祭り」で飾られました。中に電球の明かりがつくと、きれいでした。

まわりには、祭りに関する絵を描いて貼りました。自分のちょうちんが祭りで飾られていて、とてもうれしかったです。

竹を編むのはむずかしいと思ったけど、1回、2回と教えてもらっていると、だんだんと編むのが楽しくなってきました。自分では、よく編めたと思います。名人さんたちは、竹に釘を打つのがとても上手でした。わたしには、とても難しく、竹が割れてしまいました。またやってみたいです。

(4) 図工「人権の花を描こう」



花も満開になり、とてもきれいに咲いていました。そこで、大切に育てている「人権の花」を絵に描いて残すことにしました。花びら1枚1枚をじっくりと見て、ていねいに描きあげました。

「人権の花」を描く



校舎の前に置いたプランターに咲いていたペチュニアを描き、背景には校舎を描きました。



大きなひまわりを描き、教室から見える風景を背景に描きました。



(5) 人権の花でお迎え

11月11日は、公開研究発表会でした。たくさんのお客さんが来るといふことで、「人権の花」でお迎えすることにしました。プランターにパンジーの苗を植えて、お迎えの言葉をつけました。

「人権の花」でお迎え



たくさんのお客さんが来ると聞いたので、花でお迎えすることにしました。きれいに植えたので、お客さんが喜んでくれるといいなと思います。

ポーチュラカの茎が伸びてしまっていたので、茎を切って空いている花壇に移植することにしました。



(6) 第 2 回 地 域 の 方 と 苗 植 え

1 1 月 3 0 日 が 最 後 の 活 動 と な り ま し た 。 こ の 日 も 地 域 の 方 が た く さ ん 来 て く れ ま し た 。 地 域 の 方 と 子 ど も た ち が 自 然 に 会 話 を し て い る 姿 も 見 ら れ る よ う に な り ま し た 。

ビ オラ ・ チ ュ ー リ ッ プ ・ ス イ セ ン



(7)「人権の花」運動終了式・風船とばし

12月21日に「人権の花」運動の終了式と風船とばしをしました。5年生は、お客さんや全校児童の前で、活動の様子を振り返り、活動から考えたことを伝えました。また、「種をまこう」の詩を5年生全員で朗読しました。

- 12月21日(月) 14時～
プログラム
1. はじめのことば
 2. 校長先生あいさつ
 3. 人権の花運動を振り返って
・5年生の発表
 4. 人権擁護委員あいさつ
 5. 来賓あいさつ
 6. 来賓紹介
 7. 人権の花運動感謝状交付
 8. おわりのことば
(運動場へ移動)

風船とばし

《感謝状交付》



《5年生の取り組み発表》



「人権の花」運動の活動の様子を写真と共に発表しました。そして、活動を振り返って考えたことを伝えました。自分たちの活動や思いを知ってもらってから、全校で風船とばしをしました。縦割りのチームごとに、晴れた大空に飛ばしました。風船には、育てたひまわりの種とメッセージをつけました。多くの人に届きますように。

《風船とばし》



7. 子どもたちの感想

(1) 終了式での発表

ぼくはこの活動を行う前、ちくちく言葉をよく言っていました、「人権の花」を育てたり人権について考えたりするうちに、いやな言葉が少なくなりました。

花をみんなで協力して植えたり育てたりしたので仲良くなり、やさしい気持ちで水やりしたので友だちにもやさしくすることができるようになった気がします。

「人権の花」を地域の方と植えたことで、まちで会った人にあいさつをすることが多くなりました。手伝いに来てくださった方たちは、とてもやさしくて、いろいろなことを知っていてすごいと思いました。

これからは、あいさつをするだけでなく、地域の行事にも参加したいと思います。

わたしはこれまで人権の花を育ててきて、いろいろなことを学びました。花は植えるだけでは育ちません。水やりや草取りなど、心をこめて育てなければきれいな花は咲きません。また、一人の力、一人のお世話だけではきれいな花が咲くわけではありません。わたしたちだけではなく、地域の方々のおかげできれいな花がたくさん咲き、ここまで活動を続けることができました。地域の方の温もり、やさしさを感じることができ、とても心強かったです。

わたしは、人権の花運動を通して、花に対しても人に対しても心をこめて接していけば、思いは通じる、つながり合えるということを知りました。

みなさんも、人にやさしく思いやりの心をたくさん育て、これまで以上に笑顔いっぱいの南小学校をつくっていきましょう。

(2) 終了式後の子どもの感想

人権というのは平和ということとにているなと気づきました。花を植物として見るのではなく、生きて見ると見て、毎日毎日水を思いやりの心をもってあげれば、きれいな花が咲いて、その花が自分の心にも咲くのではないかと思いました。これからは植物を大切にしてくちくち言葉を言わないようにしたいです。そして、全校に人権の花が広がって満開になればいいなと思います。

自分の心には人権の花が咲いているか考えました。今、自分の心には咲いたばかりの花だと思います。なぜかという、最近あいさつができるようになったり悪口を言わずあったか言葉をつかうようになったからです。あいさつをしたらあいさつが返ってきて、うれしくて気持ちがよくなります。

テレビでは最近ぎゃくたいがあったというニュースが流れています。それは、人の人権を考えずにただ自分の思い通りにならなかったからという理由が多いと思います。だからこそ、人権の花運動があると思います。今回、ひまわりの種をとばしたことで、拾ってくれた人たちが、一度は人権のことについて考えてくれるかもしれません。そうすると人権の輪が広がるので、終わった後でも人権のことを考えていきたいと思います。

人権は一人ひとりが持っている、とても大切なことが分かりました。わたしは人権の花を植える前、人をきずつけていました。例えば、ちくちく言葉を言ったり人のいやがることをしていました。こんな時に、人権の花を植え、チームの人と協力してお世話のできたのでやさしい気持ちややさしい心になりました。みんなにもやさしくできるようになりました。

今は、5年生だけが心の中に「人権の花」を咲かせただけです。まだ、他の学年には、心の中に「人権の花」が咲いていない人がいます。今度は5年生だけでなく、全校の人の心の中に「人権の花」が咲いたらいいなと思います。

8 . 地域の方より

5年生のみなさんと3丁目自治会の方と一緒に6月と11月に花の苗植えをしました。花の植え方をおじいちゃん、おばあちゃんに教わりながら楽しく植える姿は輝いて見えました。今の子どもたちは、土になじむことがなく、重いものをもつ力などないとよく聞きます・・・。

植えた花の成長を見ながら、みなさんがのびのびと学校生活を送って欲しいと願っています。花を愛する人は、やさしく、美しい心のもち主にもなります。共同作業を通して、人の和の大切さということも感じることができたのではないのでしょうか。

今後も南小のみなさんとふれ合える機会があれば、協力していきます。



浜脇3丁目自治会長 三重野治久さん

【終了式で5年生が朗読した詩】

種をまこう

種をまこう 種をまこう
こころの中に種をまこう
わたしのこころ あなたのこころ
みんなのこころに 種をまこう
生まれたばかりのやわらかいこころに
「人権」という名の種をまこう
そして
「思いやり」という名の水と
「愛」という名の栄養を
たっぶりたっぶり そそいであげよう
みんなの「笑顔」という名の陽をあびて
きつと 芽が出る 花が咲く
やがて
大きな幸せの実が みのる

9. 種を拾ってくれた方より

種をつけた風船が遠くまで飛んでいったようです。狭間、滝尾、臼杵市、宮河内、片島、東芝大分工場、大分市の森岡小学校へと飛んでいき、電話やお手紙をくださいました。5年生に知らせると、そんなところまで飛んでいったのかと驚き、手紙が届いたことにはとても喜んでいました。

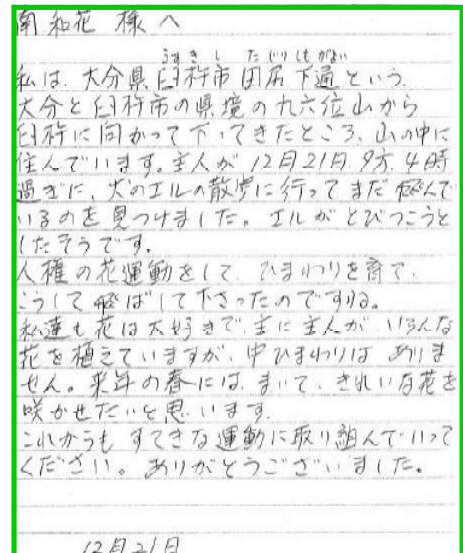
【片島の方より】

庭に落ちていた風船を拾いました。
ありがとうございました。
みなさんもがんばってください。

とてもやさしいお電話やお手紙をいただきました。喜んでもらえて、とてもうれしいです。南小学校から遠く離れた地域で、夏にはひまわりが咲くのが、たのしみです。

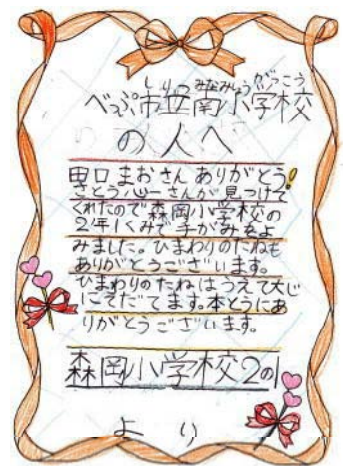
【東芝大分工場で拾ってくれた方より】

【臼杵市の方より】



とてもかわいらしいお手紙がたくさん届きました。下校時に拾ったそうです。5年生で返事を書いて、種といっしょに送りました。

【森岡小学校2年生のみなさんより】



10．成果と課題

学年で人権の花を育てることを通して、人権について考えたり自分を振り返ったりしたことは、確実に子どもたちの心に『命や人権の大切さ』が芽生えている。また、自分はどうのように『心の人権の花』を育てていくかを考え行動していこうとする意欲が見られたことは、大きな成果である。

今後、「人権の花」運動で芽生えた子どもたちの人権を大切にしようとする心を、差別の現実を解消していくためにどのようにつなげていくか考え実践していくことが必要である。また、この「人権の花」運動を次の学年につなげていく活動の必要もある。

「人権の花」運動担当より

5月に子どもたちに「人権の花」運動の話をしました。子どもたちは、「人権」という言葉に首をひねっていました。「人権って何だろう?」ということから考え始めた子どもたちが、今では「心の人権の花を咲かせよう!」とっています。

苗を植えた次の日から、毎日欠かさずに、水やりをしている子がいました。「きれいに咲いてね」と声をかけながら。大雨の日には、「雨にうたれて大丈夫かな。水が多すぎて枯れないかな。」と花のことを気にかける子がいました。植物や物を大切にできる人は、人権も大切にできるようになるだろうと感じました。

ある子が、「友だちへの接し方が前と変わったから、小さいけど人権の花が咲いていると思う。」とっていました。「花」を育てながら、しっかりと「人権」について考えて生活していたからでしょう。これから、もっともっと人権について考え、行動していくことで、みんなの心に大きな人権の花が咲かせて欲しいです。

今、心に「人権の花」は咲いているかな?

川 野 由 美

平成21年度

- 「人権の花」運動の取り組み -

別府市立南小学校5年生65名

5年1組 藤内 護 教諭

5年2組 川野 由美 教諭

別府市浜脇三丁目自治会のみなさん

別府市人権擁護委員のみなさん 他